



全日本建設交運一般労働組合 全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

第15回建交労学校へ行ってきました 前編



2024年6月7日から9日まで、静岡県伊豆の国市「ホテルサンバレー富士見」で行われた第15回建交労学校へ、大陽液送の東堀君と参加してきました。

新幹線で三島駅へ。そこから伊豆箱根鉄道に揺られる事約20分、伊豆長岡駅に降りて更にバスに乗り今回の目的地ホテルサンバレー富士見に到着しました。

伊藤千尋講師による記念講演「仲間を作り世界を知れば、未来へ確信が持てる」を聞き、ウクライナ、パレスチナにおける悲惨な現状、いかに憲法9条が大切かと言うのを学びました。初耳で驚かされる話ばかりでしたが、特に印象的だったのは、憲法9条が実は日本人が考えた条文だったということです。てっきりアメリカのマッカーサーから押し付けられたとばかり思っていたので、これには衝撃を受けました。地熱発電の話もそうで、地熱発電で原発20基分の電力が賄えるそうです。技術的にも可能で温泉が枯れるということもない。なのにいまだに原発を押し進めようとしている。政治が自分たちの都合のばかりで、全く国民の事を考えていない事に強い憤りを感じました。憲法9条で国が守れるのかと問われた時に、正直無理なのでは無いかと思ってしまいましたが、伊藤先生の話聞き、そもそも考え方が間違っていた事に気づかされ、「絶対に改憲など許してはならない」と強く思いました。



続いて長崎県本部の中里氏による講義「先輩たちの壮絶な被曝体験を次の世代に」を受けました。原爆による7万4千人にのぼる被害、生き残った方の放射能による後遺症に苦しむ話や映像を見て、胸が締め付けられる思いでした。被爆者の苦しみは被爆者だけではなく、子や孫にも取り返しのつかない影響を与えています。ありきたりな言葉にはなりますが、二度とこのような悲劇を起こしてはならない、そう心に思った次第です。

そして待ちに待った夕食の時間です。初めプログラムでは夕食前に班ごとに集まり自己紹介や本日の感想を話し合う場があったのですが、時間の都合上カットされ、いきなりほぼ初対面同士で食事をするというなかなかスリリングな展開となりました。初めは各々緊張の面持ちだったように見受けられましたが、お酒が1杯2杯と進むにつれて話も弾み、それはそれは楽しい食事会となりました。

当然そこで終わる訳は無く、2次会、3次会へとそれぞれ繰り出して行きました。僕もきっちりカラオケまで行きましたよ。その後も夜遅くまで飲み明かしました。

2日目はそれぞれ業種別中央執行委員による講義で、「建交労の魅力！業種部会の取り組み紹介」と題し、建交労には様々な職場の仲間がいることを知りました。

全国トラック部会からは松澤氏によるトラックの抱える問題点や今後の取り組み、2024年通常国会において「物流関係の2法案」が審議され、トラック部会として初めて足立部会長が参議院国土交通委員会に意見陳述したことなどが報告されました。

全国学童保育部会からは学童保育所の現状、平均年収280万円でもまともな生活が送れないと指導員たちの声があり、早急に処遇改善されなければ誰も働かなくなり子供達を見る人がいなくなると大変危惧されていました。僕自身も小学生の娘がおり、すぐにでも改善が必要だと感じました。

その後、全国労災職業病部会の永島氏からは職業病と労働災害の違いや、トンネルじん肺闘争と歴史を学びました。



第15回建交労学校へ行ってきました 後編



昼食は場所をしいたけの里に移動してのバーベキューです。実は僕はしいたけが食べられません。でも出てくる料理はしいたけの丸焼き、しいたけおにぎり、しいたけの味噌汁。その他お肉やお野菜もありました。もちろん大人ですから全て美味しく頂きましたよ。でもしいたけ狩りだけは遠慮させていただきました。ごめんなさい。

その後ホテルへ戻って班ごとの分散討論会があり、今まで2日間講習や講義を受けてどう思ったかなどを話し合いました。それぞれの意見を聞き、自分では気が付かなかったこと、様々な意見を反論ではなく吸収することができ、非常に有意義な2時間でした。

3日目の朝、長いように思えた建交労学校も最終日になりました。少しおセンチな気分になりながら朝の講演、角田委員長による「建交労がうけついでもの、いまとこれから」を聞きました。今までの運輸一般、建設一般、全動労がひとつになり建交労が誕生したこと、これまでの政治闘争やこれからどうしていくのか、最後は議論上手になるにはなど、多岐に渡りお話しして下さりました。

最後のプログラムは、1人ずつ前に出てプラカードに一言書いて今の思いを喋ると言うもので、非常に緊張しました。何を書こうか非常に困りましたが、閃きました。それは「LOVE&PEACE」。その昔、レゲエの神様ボブマーリーが僕に教えてくれていました。ひとりひとり愛と思いやりがあれば戦争なんか無くなると。結構真面目に思っています。これをそのまま発表しました。上手く言えたと信じています。

こんな感じで初めは長いなあと思った3日間でしたが今思えばあっという間でした。

まだ参加されていない組合員の皆さん、今後機会がありましたら是非参加してもらいたと思います。このような素晴らしい体験ができて、本当に良かったと思いました。ありがとうございました。

寿運送分会 本澤友樹



愛媛県西条に行ってきました!!

6月9日(日)から4日間パージ作業の為、愛媛県今治に出張に行ってきました。車両止置場がエス・イー・イー物流西条ということで、エス・イー・イーの西条と言えば昨年の機関紙12月号に登場された志佐さんです。私も病気になられたと聞き、退職されてからは一度もお会いしてなかったので、以前組合員だった岸くん(何故か現在、西条所長 笑笑)に連絡を取ってもらい、志佐さんを誘って食事に行けることになりました。

岸くんと会うのも7年ぶりぐらいになるので「ホンマに久しぶり、お互いに年取ったな〜!」と笑い合いました。志佐さんの家に迎えに行くと、なんと病気が良くなったとは聞いていましたが、現役の時よりふっくらされてとても元気な志佐さんが立っておられ、本当に嬉しくて握手を求めました。その後食事に行き、志佐さんの病気との闘いや四国液酸時代の組合についてなどの話を聞き、私からは酸素部会の活動や物流について、岸くんが参加していた連絡会後の飲み会の話など、3人で話はずみ楽しい時間を過ごさしていただきました。こちらからお誘いしたのにもかかわらず、志佐さんにごちそうしていただき本当にありがとうございました。志佐さん、これからも無理をせず、お体を大事にして頑張ってください。岸くん、出庫の見送りなど色々お世話になりました。



今回の出張では、あまり会うことの出来ないエス・イー・イー西条の武田組合員にもお会いすることができて良かったです。このように出張へ行った先で全国酸素部会の仲間みなさんと交流を深めることが出来ることに幸せを感じます。みなさんも是非、出張などに行くことがあれば全国の仲間と連絡をして交流を深めていただきたいと思います。大阪に来られることがあれば寿、大陽、大田の仲間で大歓迎しますので連絡をお待ちしております。

寿運送分会 村上吉樹